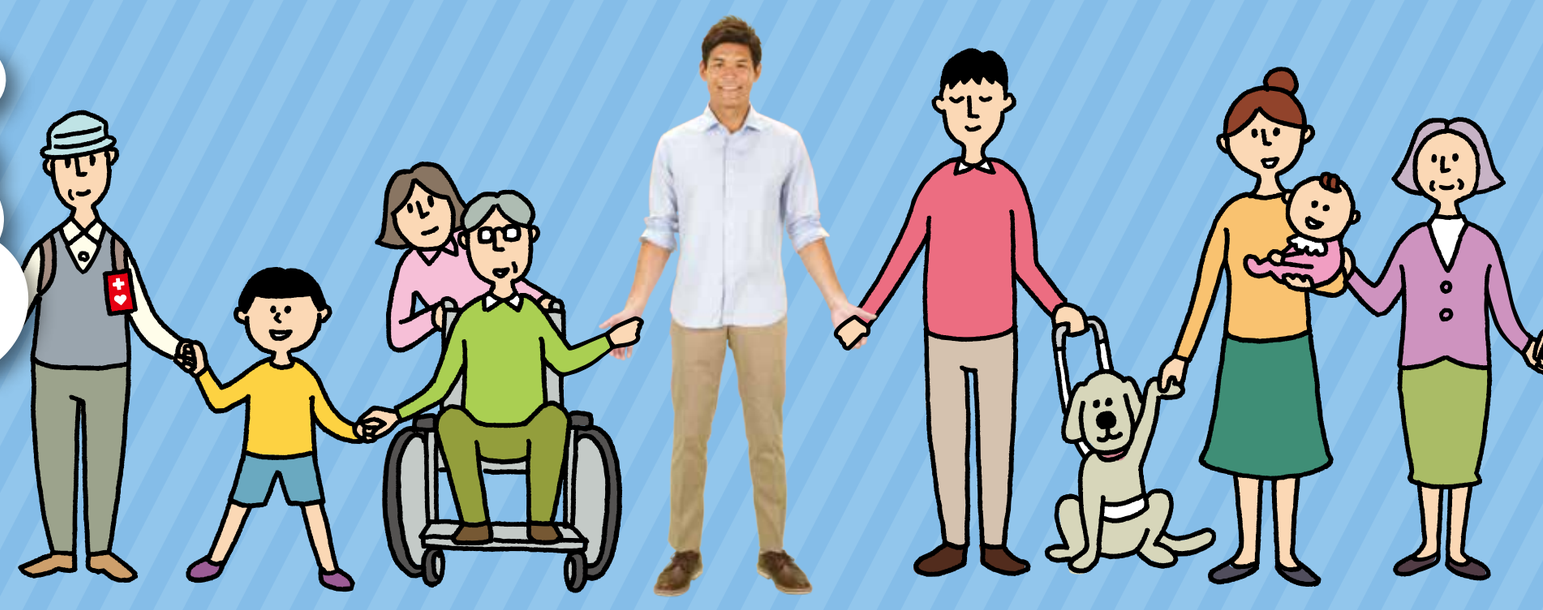
みんなで支え合い、つながり合う

ともに生きるTOKYO



それぞれの障害特性。

精神障害

○統合失調症や気分障害（躁うつ病）などの精神疾患では、幻覚や妄想、不安やイライラ感、ゆううつ感、不眠など。
○薬を服用することや環境が安定することにより症状は軽くなる。
○精神疾患というだけで誤解や偏見、差別の対象となりやすく、社会参加が妨げられがち。

発達障害

○広汎性発達障害（自閉症、アスペルガー症候群など）、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）など、脳の機能障害によっておこる障害。
○他人とのコミュニケーションなどが苦手。
○知的な遅れを伴うこともある。

高次脳機能障害

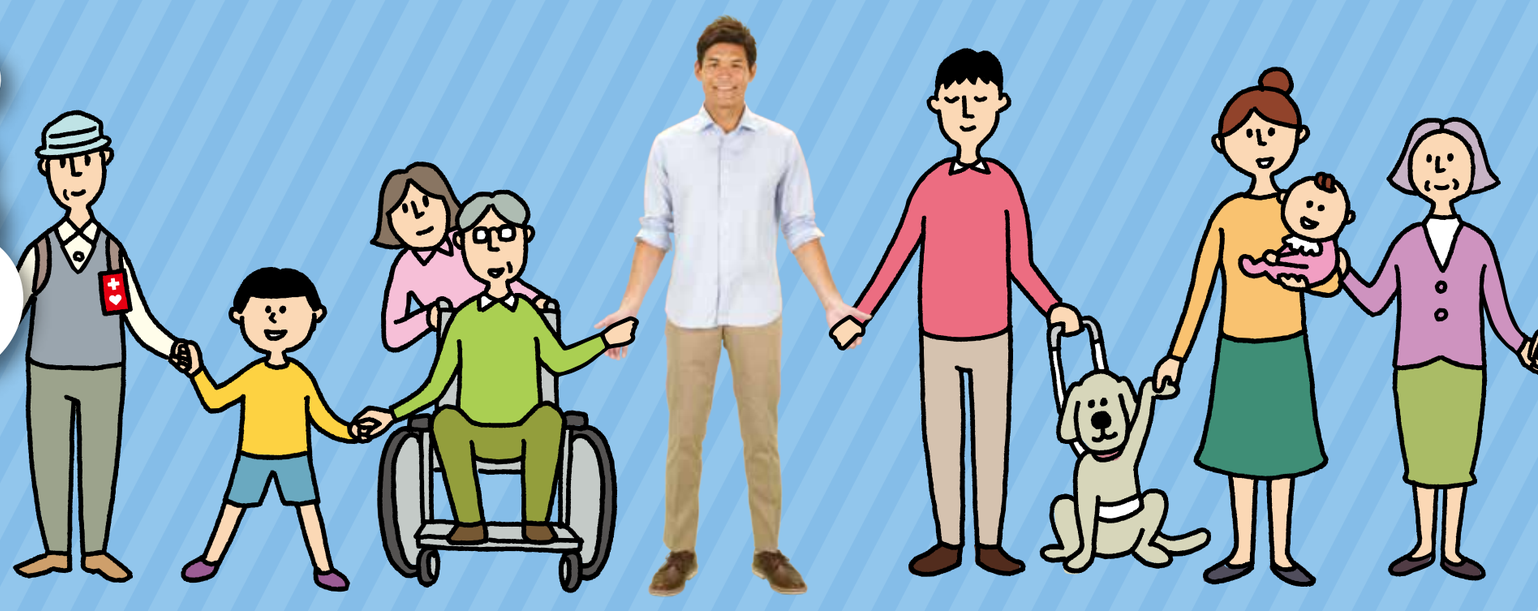
○交通事故や脳血管障害などの病気により、脳がダメージを受けることによって、思考・記憶・行為・言語・注意などの脳機能の一部に障害が生じること。
○身体的には障害が残らないことも多く、外見では分かりにくい。
※人によって必要な配慮も大きく異なる。

難病

○多種多様な疾患があり、重篤で全面的な介助が必要な人から、ほとんど問題なく日常生活を送っている人まで様々。
○障害が固定せず、進行・変動することがある。
○外見では分かりにくいなど、人によって必要な配慮も大きく異なる。

みんなで支え合い、つながり合う

ともに生きるTOKYO



障害者差別解消法に関連するその他の都の取組。

ハートシティ東京

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/tokyoheart/

東京都が発信している障害者理解促進のための特設サイト。

○障害者別の知ってほしいこと　○困ったことやサポートの事例

○障害者差別解消法や障害者
　虐待防止法の紹介ページ など

ヘルプマーク

外見からは分からない義足や人工関節を使用している人、内部障害や難病の人、知的障害のある人などが、援助や配慮を必要としていることを、周囲の人に知らせることができるマーク。ヘルプマークを身に着けた人を見かけたら、

○電車・バスの中で、席をお譲りください。

○駅や商業施設などで、声をかけるなどの配慮をお願いします。

○災害時は、安全に避難するための支援をお願いします。

ヘルプカード

障害のある人が普段から身に着けておくことで、緊急時や災害時、困った際に、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするカード。

記載内容：緊急連絡先、必要な支援内容 など

東京都福祉保健局